

66) 坂口幸宗, 高野治雄, 市村和徳, 藤江秀樹, 吉岡 勉: 両側先天性恒久性膝蓋骨脱臼の1例. 第117回北陸整形外科集談会, 1990, 12, 金沢.

◆ その他

- 1) 辻 陽雄: 腰痛の観血治療—成功に導くための秘訣. MEDICO 21: 21-23, 1990.
- 2) 加藤義治, 今田光一, 丸田喜美子, 辻 陽雄: 壮年期広範脊柱靭帯骨化症におけるCa代謝の一特性. 厚生省特定疾患脊柱靭帯骨化症研究班平成元年度報告書, 131-133, 1990.
- 3) 丸田喜美子, 辻 陽雄, 市村和徳, 山上 亨: ヒト黄色靭帯, 椎間板繊維輪および前縦靭帯における石灰化抑制機構. 厚生省特定疾患脊柱靭帯骨化症研究班平成元年度報告書, 122-126, 1990.
- 4) 高野治雄, 辻 陽雄, 高野 隆, 清水一夫, 上田 剛: 術後および外傷後疼痛, 炎症に対するCN-100の臨床効果. 診療と新薬 27: 1799-1824, 1990.
- 5) 辻 陽雄: 慢性疼痛の成り立ちと管理の基本. 福井県整形外科医会教育研修会, 1990, 1, 福井.
- 6) 伊藤達雄: RA 頸椎症. 第15回名古屋市立大学整形外科セミナー, 1990, 2, 名古屋.
- 7) 伊藤達雄: リウマチ頸椎症の診断と治療. 第12回千葉県整形外科医会, 1990, 3, 千葉.
- 8) 辻 陽雄: 慢性腰痛・下肢痛の管理と治療. 日本医師会生涯教育講座, 1990, 4, 札幌.
- 9) 辻 陽雄: 腰痛治療のこつ. 学術講演会, 1990, 7, 富山.
- 10) 辻 陽雄: 腰部脊柱管狭窄症の病態と治療. 第14回自治医科大学整形外科懇談会, 1990, 8, 宇都宮.
- 11) 辻 陽雄: 脊椎固定の基本理念. 第7回富山医薬大整形外科立山セミナー, 1990, 8, 富山.
- 12) 高野治雄: 整形外科における臨床神経生理学的検査の適応と解釈. 第7回富山医薬大整形外科立山セミナー, 1990, 8, 富山.
- 13) 松井寿夫: 四肢腫瘍病変の捉え方, 治療計画法と実際. 第7回富山医薬大整形外科立山セミナー, 1990, 8, 富山.
- 14) 松野博明: RA 発症の機序と抑制. 最近の知見と展望. 第7回富山医薬大整形外科立山セミナー, 1990, 8, 富山.
- 15) 松下 功, 松野博明, 岡田知佐子, 北野隆利, Kadowaki K.M., 辻 陽雄: 慢性関節リウマチに対する女性ホルモンの働き—基礎的研究を中心に—. 第7回富山医薬大整形外科立山セミナー, 1990, 8, 富山.

- 16) 辻 陽雄: 痛みの知識. 生涯教育研修会, 1990, 9, 富山.
- 17) 辻 陽雄: 慢性腰痛患者への対応と指導. 第18回日本臨床整形外科医会関東ブロック研修会, 1990, 11, 東京.
- 18) 辻 陽雄: 腰痛の診断, 治療, ケア—へのアプローチ. 「腰痛」学術講演会, 1990, 11, 富山.

産科婦人科学

| | |
|-----|-----------|
| 教 授 | 泉 陸 一 |
| 講 師 | 新 居 隆 司 |
| 講 師 | 久 具 宏 義 仁 |
| 助 手 | 八 木 留 明 彦 |
| 助 手 | 津 留 明 弘 |
| 助 手 | 伏 木 裕 昭 |
| 助 手 | 八 木 裕 昭 |
| 助 手 | 岡 栖 秀 明 |
| 助 手 | 栗 栖 久 宣 |
| 助 手 | 脇 博 樹 |

◆ 原 著

- 1) 杉森 甫, 秋谷 清, 泉 陸一, 奥田博之, 鈴木忠雄, 関谷宗秀, 野口 浩, 長谷川和男, 林 茂, 野田起一郎: 子宮頸癌に対する維持化学療法. Oncology & Chemotherapy 6: 43-52, 1990.

◆ 総 説

- 1) 泉 陸一: 性機能の異常—帯下—. 総合臨床 39: 1471-1476, 1990.
- 2) 泉 陸一: 中胚葉性混合腫瘍. 病理と臨床 8: 1231-1237, 1990.
- 3) 泉 陸一, 新居 隆, 八木裕昭, 結城浩良: Quality of life からみた癌手術療法の進歩—子宮頸癌—. 癌と化学療法 17: 749-755, 1990.
- 4) 川端正清, 泉 陸一: 卵巣腫瘍における second look operation の予後. 産科と婦人科 57: 895-900, 1990.
- 5) 新居 隆: 産婦人科治療法の実際—一回旋異常—. 産科と婦人科 58: 261-263, 1990.
- 6) 久具宏司, 武谷雄二, 水野正彦: 退行期骨粗鬆症の治療③ Estrogen. THE BONE 4: 77-84, 1990.

◆ 学会報告

- 1) 八木義仁, 新居 隆, 津留明彦, 泉 陸一: ヒト胎盤, 卵膜における 15 hydroxyprostaglandin dehydrogenase (PGDH) の局在性と活性動態の

- 研究. 第42回日本産科婦人科学会総会, 1990, 4, 東京.
- 2) 伏木 弘, 川端正清, 八木裕昭, 山岸雅司, 泉陸一, 加藤 潔: ヒト子宮頸部腺癌培養細胞株 (TCO 株) の樹立と *in vitro* における各種抗癌剤の感受性について. 第42回日本産科婦人科学会総会, 1990, 4, 東京.
 - 3) 川端正清, 八木裕昭, 伏木 弘, 新居 隆, 泉陸一: 超音波断層法を用いた若年女性に対する卵巣腫瘍集団検診の試み. 第42回日本産科婦人科学会総会, 1990, 4, 東京.
 - 4) 八木義仁, 副田善勝, 岡 秀明, 八木裕昭, 伏木 弘, 新居 隆, 泉 陸一: 胎児仮死およびIUFDの過程における臍帯動脈血流速度波形とNSTの変化について (Second trimester の3症例). 第18回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1990, 6, 福井.
 - 5) 八木裕昭, 伏木 弘, 泉 陸一: リンパ嚢腫による URETERAL OBSTRUCTION についての検討. 第18回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1990, 6, 福井.
 - 6) 副田善勝, 梅澤 聡, 津留明彦, 脇 博樹, 八木義仁, 新居 隆, 泉 陸一: 多胎妊娠における子宮内胎児死亡の産科的対応について. 第18回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1990, 6, 福井.
 - 7) 結城浩良, 栗栖久宣, 八木裕昭, 伏木 弘, 川端正清, 新居 隆, 泉 陸一: 原発性卵巣癌の完全摘除例における術後腫瘍マーカーの推移についての検討. 第18回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1990, 6, 福井.
 - 8) 伏木 弘, 堀 慎一, 八木裕昭, 泉 陸一, 川端正清: 子宮頸癌患者における Scalene node biopsy の意義. 第38回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1990, 9, 札幌.
 - 9) 塩崎有宏, 岡 秀明, 津留明彦, 伏木 弘, 新居 隆, 泉 陸一, 櫻川信男: AT III欠損症合併妊娠, 分娩の1例. 第38回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1990, 9, 札幌.
 - 10) 久具宏司, 武谷雄二, 大須賀 穰, 三橋直樹, 水野正彦: Leukotriene C₄, D₄ (LTC₄, LTD₄) の gonadotropin 分泌促進作用. 第63回日本内分泌学会総会, 1990, 5, 大阪.
 - 11) 久具宏司: ワークショップ「初期哺乳」栄養学的, 免疫学的. 第8回東京母性衛生学会, 1990, 5, 東京.
 - 12) 久具宏司, 藤井知行, 武谷雄二, 水野正彦: 抗

- 癌剤治療により一過性に卵巣性無月経となった症例. 第102回日本不妊学会関東地方部会, 1990, 6, 埼玉.
- 13) 久具宏司, 武谷雄二, 水野正彦: GnRH agonist 投与中の各種ホルモンの推移. 第2回GnRH研究会, 1990, 6, 東京.
 - 14) Kugu K., Taketani Y., and Mizuno M.: Leukotriene C₄ and D₄ (LTC₄, LTD₄) stimulate the gonadotropin release from anterior pituitary cells *in vitro*. The 7th World Congress on Human Reproduction. 1990, 6, Helsinki.
 - 15) 脇 博樹, 加藤 潔: 前置胎盤大量出血の1例. 第1回日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1990, 2, 富山.
 - 16) 副田善勝, 新居 隆, 泉 陸一: 卵巣妊娠の1例. 第2回日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1990, 6, 富山.
 - 17) 栗栖久宣, 泉 陸一: 骨盤内腫瘍における超音波断層法, CT, MRI の検討. 第4回日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1990, 12, 富山.

◆ その他

- 1) 久具宏司: 内分泌学的検査 / A 下垂体関係一 LH・FSH. 臨床検査ガイド, 421-425, 文光堂, 1990.

眼 科 学

| | | | |
|--------|-----|-----|---|
| 教 授 | 窪 田 | 靖 夫 | 夫 |
| 助 授 | 武 田 | 憲 夫 | 夫 |
| 講 師 | 片 山 | 寿 夫 | 夫 |
| 講 師 | 山 本 | 修 一 | 一 |
| 講 師(前) | 狩 野 | 俊 哉 | 哉 |
| 講 師(前) | 石 田 | 俊 郎 | 郎 |
| 講 師(前) | 田 中 | 良 則 | 則 |
| 助 手 | 開 | 繁 義 | 義 |
| 助 手 | 山 田 | 成 明 | 明 |
| 助 手 | 早 見 | 宏 之 | 之 |
| 助 手 | 沼 田 | このみ | み |
| 助 手 | 福 尾 | 吉 史 | 史 |
| 助 手 | 石 黒 | 真 美 | 美 |
| 助 手 | 矢 野 | 宏 樹 | 樹 |
| 助手(前) | 鍛 冶 | 兆 宏 | 宏 |
| 助手(前) | 堀 | 津 良 | 良 |
| 助手(前) | 加 藤 | 剛 | 剛 |

◆ 原 著

- 1) 窪田靖夫: 網膜色素変性症患者の主訴に関する